

令和6年12月1日

臨床研究に関する情報公開

渋川医療センターでは、下記の臨床研究の情報を公開しております。

研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、研究への情報利用についてご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、各研究の研究責任者または、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 全身麻酔で手術を受ける患者さんに対する外来での説明動画視聴の効果の評価

[研究責任者] 副看護師 馬場亜貴子

[研究の背景]

A 病院では全身麻酔で手術を受けることが決まった患者さんの準備が十分整わずに入院してきている現状があり、手術の際に軽微なトラブルが起こることが散見されている。

現在、ほとんどの手術は手術前日の入院であるが、手術室看護師が患者さんにかかわるのは、入院後の術前訪問時の数分の面談であるため、介入には限界があると感じている。患者さんが手術に向けて自ら準備していくためには、早期からその必要性を正しく理解し実践することが重要であり、手術室看護師の早期からの介入が必要と考える。現在手術室看護師の外来での介入は、スタッフの人数も限られていることから長時間の介入は困難である。そのため、患者さんに自宅での過ごし方や手術前に準備してほしいことをまとめた動画を作成した。この動画を視聴することで患者さんの意識の変化や行動変容につながったのか明らかにする。

[研究の目的]

全身麻酔での手術は身体に大きな負担がかかる。患者さんが最良の状態ですべての手術を受けられるよう自ら準備をして、全身状態を良好な状態に保つためには、外来での早期からの介入が必要と考える。今回外来受診時に視聴できるように、「全身麻酔で手術を受けられる患者さんへ」という説明動画を作成した。この動画を視聴することで、手術に向けて患者さんの意識の変化や、行動変容につながるのか明らかにすることを目的とする。

[研究の方法]

説明動画視聴後アンケート用紙を配布し動画視聴後にアンケート用紙を記載してもらい回収する。回収できなかった場合は入院時に持参してもらう。アンケート結果については質的機能的分析を行う。

●対象となる患者さん

- ・ 入院前に麻酔科外来を受診し、全身麻酔で手術を受ける患者さん。

- ・ 20歳に達している患者さんで、身体的・精神的状態が安定している。日常会話が可能で、アンケート調査や質問に対して回答が可能な認知力を有している患者さん。

●研究期間 倫理審査許可日～2027年3月

●情報の管理

研究責任者は、研究等の実施に係る文書を手術室の鍵のかかるロッカーに保管する。保管期間は、当該研究の結果の最後の公表について報告された日までの期間とする。保管期間終了後は、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し廃棄する。その他媒体に関しては、匿名化のうえ適切な方法で廃棄する。

●研究の知的財産権

得られた結果から特許などの知的財産権が生み出された場合、その権利は研究者あるいは研究者の所属する機関に帰属する。

[研究組織] 渋川医療センター 手術室

[個人情報の取扱い]

本研究に関する関係書は、研究対象者の個人情報について適応される法令、条例を遵守する。また、関係者は、研究対象者の個人情報及びプライバシー保護に最大限注意を払い、本研究を行う上で知りえた個人情報を適切な理由なく漏らしてはならない。関係者がその職を辞した後も同様とする。研究責任者が本研究で得られた情報を公開する際には、研究対象者が特定できないよう十分配慮する。

[利益相反]

なし

【問合せ・苦情等の相談窓口(連絡先)】

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター
〒377-0280

群馬県渋川市白井383

電話 0279-23-1010(代表)

FAX 0279-23-1011

部署: 手術室

職名: 副看護師長

氏名: 馬場亜貴子